

釧路商工会議所

機関名	釧路商工会議所		
所在地	釧路市大町1-1-1 道東経済センタービル		
電話番号	0154-44-0066		
地域概要	(1)管内人口 276千人	(2)管内商店街数 16商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 8商店街	(2)会員数 501商店	
	(3)空店舗率 17.5%(H15年度)	(4)大型店空き店舗数 5店	
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

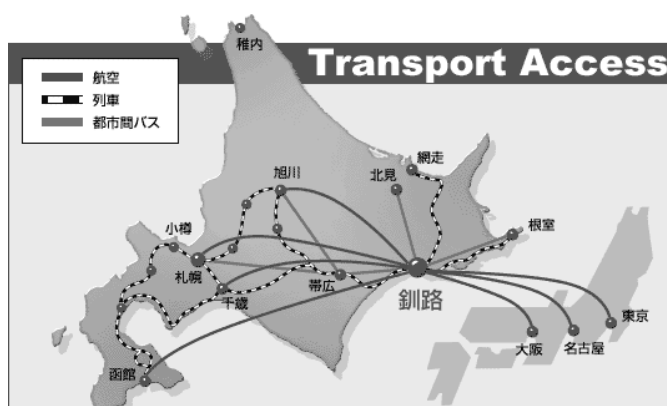
【事業名と実施年度】

平成15年度	活性化対策事業	・チャレンジショップ事業 ・中心市街地情報発信事業
	総事業費	12,572千円

【事業実施内容】

1. 背景

釧路市は、漁業・石炭・紙パルプの3大基幹産業を軸に道東の中核都市として発展を遂げてきたが、産業構造の変化という大きな波の中でこれらの産業は低迷を余儀なくされ、必然的に街の商業環境は厳しい状況に置かれている。加えて、相次ぐ郊外大型店やカテゴリーキラーと呼ばれる専門店の進出は、これまで地域



釧路市位置図（釧路市HPより）

を支えてきた商店街の衰退を加速させ、釧路市商店街振興組合連合会の組合員数も平成6年をピークに3割強も減少してきている。それに付随して、商店街の空き店舗も増加し、市内17の街区で209箇所にもなっている。特に中心部である北大通の空き店舗は43箇所、横這い傾向とはいえ憂慮される状況にある。

そうした環境下において、商店街の活性化に向けての対応は、もはや待ったなしの状況にあることから、「チャレンジショップ事業」並びに「中心市街地情報発信事業」の2つに取り組むこととした。

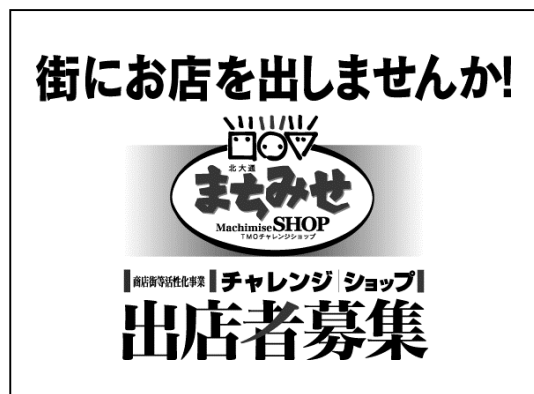
2. 事業内容

(1) チャレンジショップ事業

商店街を支える人材の集積を図り、あわせて中心市街地の商店街等の活性化を図ることを目的に、空き店舗を有効活用して起業家育成のための実験事業を実施した。

①事業概要

- 1) 対象者 18歳以上で創業意欲があり、釧路市の中心市街地での新規開業を目指す者。
- 2) 募集業種 小売業、サービス業（例：マッサージ業、リフォーム業、修理業等）
※ただし、設備改修を伴う飲食業、風俗営業に関する業種を除く。
- 3) 参加店数 7店（うち、団体2）
- 4) 実施場所 KOM（くしろデパート）1階
釧路市北大通3丁目
- 5) 店舗規模 約140㎡ 1区画約13㎡
- 6) 事業期間 平成15年7月31日～12月14日



チャレンジャー募集案内
(釧路商工会議所 HP より)

②事業経過

6月12日～27日	出店者募集	問い合わせ23件、申請書交付数15件、申請書提出数7件
6月30日	応募者書類選考	申請書提出者7名（2団体含む）全員通過
7月3日	応募者面接	7名全員合格
7月5日～26日	創業塾	1日2講座×5日間、計10講座を開催
7月31日	実験店舗オープン	
12月14日	実験店舗終了	



オープニングセレモニー



チャレンジショップ「まちみせ」外観

③出店業種

- ・「釧路紅茶館」 紅茶茶葉販売
- ・「P STORY」 手作りアクセサリ
- ・「MOM」 マッサージ
- ・「√A10%」 手作り洋服販売
- ・「S. O. H」 組立パソコン販売、メンテナンス
- ・「オアシスショップ」 授産製品等販売
- ・「クチコミ喫茶オアシス」 コーヒー、菓子等の提供

④出店者への支援

チャレンジショップ事業を経た後には、これまで商売の経験が全くなかった人でも開業できるよう、事前研修や店舗での実習を通じて商売に必要な知識やノウハウの習得を目指し、次のような支援を行った。

- ・創業塾の実施（記帳・接客・商取引の基礎、事業計画、マーケティングのほか、商売のノウハウ等の習得）
- ・新規事業者への店舗区画の転貸
- ・店舗での販売実習
- ・中小企業診断士による個別経営指導
- ・全体PR、集客イベント
- ・来店者アンケート、出店者アンケートの実施
- ・独立開業に向けた支援 等

⑤事業終了後の出店者の進路

事業終了後、3名のチャレンジャーが中心市街地に出店し、他の出店者も何らかの形で事業を継続している。

- ・「釧路紅茶館」 1月より喫茶店（茶葉販売含む）を開店
- ・「P STORY」 展示会等を通じて営業継続
- ・「MOM」 1月よりマッサージ店を開店
- ・「√A10%」 1月より洋裁専門学校の講師、自宅を拠点に営業継続
- ・「S. O. H」 1月より組立パソコン販売、メンテナンスを開店
- ・「オアシスショップ」 港湾労働者福祉センター内レストランにおいて営業継続
- ・「クチコミ喫茶オアシス」 //

(2) 中心市街地情報発信事業

中心市街地に立地する商店街や歓楽街の個店情報に加え、イベント情報・交通情報など、中心市街地の持つポテンシャルや魅力を複合的にPRするものとして、現況で最も効果的かつ安価なツールである、携帯電話による情報発信事業を実施した。

①事業内容

- 1) 事業対象エリア 釧路市中心市街地活性化基本計画エリア
- 2) 参加対象者 商店街、商店会及び歓楽街に属する小売・飲食・サービス業を営む店舗
- 3) 実施期間 平成15年12月1日～平成16年2月末日
- 4) 参加費用 参加店は一切無料
- 5) サイトタイトル get946.com
(ゲット くしろ ドット コム)



「get946.com」
URL告知ポスター、立て看板

②システムの概要

携帯電話から得られる情報発信サイトとして、中心市街地内の小売店、飲食店、サービス店などの商品やグルメ情報、商店街等のイベント情報、交通ガイド等の情報を発信するほか、アクセスを誘発させるため、「とく得」をキーワードにしたサービスを、各加盟店舗等より積極的に発信、提供する。

- ・見て得（クーポンをゲット）

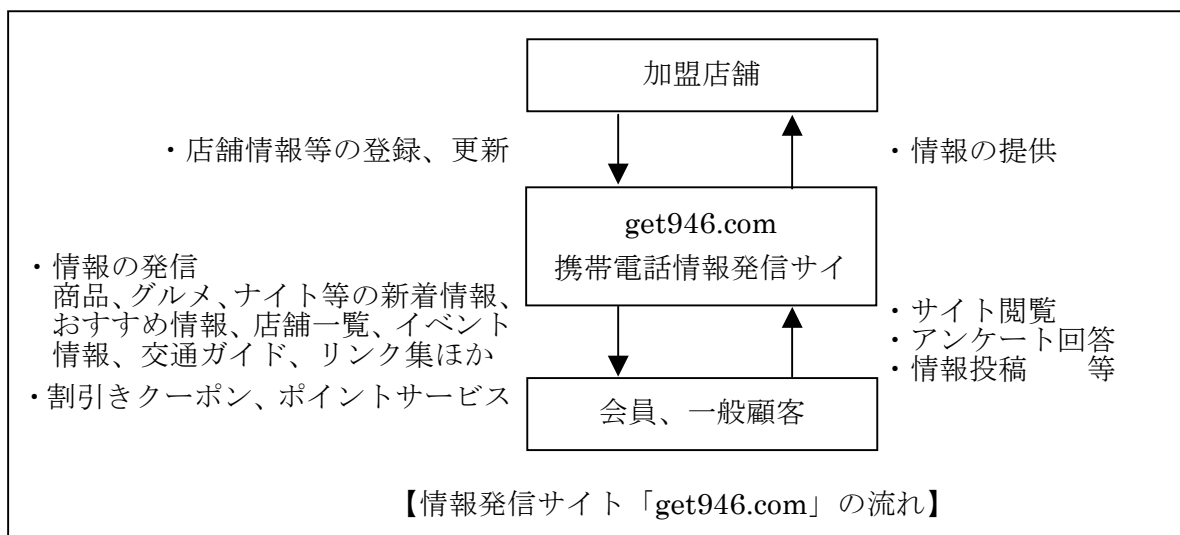
例：一般割引、学割、プレゼント等のサービス提供

- ・知って得（新着ニュース、バーゲンセール）

例：レアものグッズ本日入荷、〇〇産松茸限定入荷、七夕フェア開催の情報、サービス提供

- ・食べて飲んで得（グルメガイド）

例：ランチディナー、ドリンクサービス、旬の料理等の情報、サービス提供



③事業の経過（平成16年2月23日現在）

- 1) 参加組織 商店街等 10 組織
- 2) 参加店舗 342 店
- 3) アクセス数 49,250 カウント
- 4) 会員登録数 465 名（男性 235 名、女性 230 名）

【アクセス数の推移】

	個店 トップページ	個店 コンテンツ	個店 クーポン	合計
11月（公式オープン前）	4,218	2,554	128	6,900
12月	7,384	12,811	1,076	21,271
1月	4,314	8,148	387	12,849
2月	2,601	5,413	216	8,230
累計	18,517	28,926	1,807	49,250
1日平均	168	310	20	498

【 効 果 】

1. チャレンジショップ事業

チャレンジショップ事業に参加したチャレンジャー7店のうち、3店が中心市街地のエリアで独立開業し営業を続けている。また、他のチャレンジャーも他地区や展示会等無店舗で事業を継続している。

この実績により、平成16年度は市と商工会議所の負担で事業を継続するため、準備を進めている。

2. 中心市街地情報発信事業

携帯端末による情報発信事業により、お店の紹介・イベント等の情報が容易に発信されることで、商店街や個店の認知度が深まった。今後は、参加店エリアを全市に広げ、内容も拡充して継続して行く作業を進めている。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. 事業費の確保

事業費補助が3分の2のため、自己資金の裏付けが事業全体の規模になってしまう。そのため、家賃や広報費・イベントなどの費用を低く押さえる必要に迫られ、中途半端な内容になってしまう。

2. 事業の合意形成

事業実施の開始についての意見の不一致等の合意形成には苦勞をしなかったが、事業の継続中は自分に直接関係ないとのことで、相乗効果がなかなか発揮されなかった。

3. 実施期間・実施時期

補助事業決定が6月中旬以降になることから、事業開始がどうしても遅れてしまう。特に北海道の場合、秋以降の気候・日照時間の関係で客足が伸びなかった。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

活性化のための事業については、地域や商店街の特性を生かし取り組むことが必要である。

【 関 連 U R L 】

釧路商工会議所 <http://www.kuhcci.or.jp/>

釧路都心部携帯電話情報サイト <http://www.get946.com/>